エコアクション21

環境マネージメントシステム

環境経営レポート

2022年4月～2023年3月

1年間

（ レポートの項目 ）

1. 事業者名および代表者名
2. 対象範囲
3. 環境保全責任者および担当責任者
4. 事業の概要
5. 事業の規模
6. 組織体制
7. 環境理念・環境方針
8. 環境目標・環境経営計画および実施値
9. 環境経営計画および具体的施策の実施
10. 環境経営取組結果と経営の評価および今年度の取組内容
11. 次年度の環境経営計画および具体的施策
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認および評価結果
    違反・訴訟等の有無
13. 代表者による全体の評価と見直し

2023年 8 月 28 日

中 筋 建 工 株 式 会 社

〒770-0923　徳島県徳島市大道1丁目10番地

きれいな水、きれいな空気

中筋建工株式会社

会社および事業概要

1. 事業者名および代表者名

事業者名　中筋建工株式会社
代表者名　代表取締役　中筋　章聡

2. 対象範囲

1) サイト　〒770－0923
徳島市大道1丁目10番地　TEL（088）654-4455
倉庫　徳島市幟町1丁目47番地　TEL（088）624-2551
高知支店　高知市萩町1丁目6-36　TEL（088）833-0511

2) 活動、製品、ｻｰﾋﾞｽ　業務の概要に記しているが、製品は存在しない
活動が本来のｻｰﾋﾞｽであり活動に含む

3) 対象者　全従業員

3. 環境保全活動責任者及び担当責任者

環境活動統括管理責任者　中筋　章聡
環境活動管理責任者　長尾　和浩

4. 事業の概要

都市のｲﾝﾌﾗ整備で、本当の『快適さ』を追及。
上下水道、空調設備設置において顧客要望を満足すべく
ｼｽﾃﾑ設計を行い、必要な製品・部品等を購入
（製品ｱｾｽﾒﾝﾄを行い、環境負荷の少ない物品購入）
施工・監理及びﾒﾝﾃﾅﾝｽを行い、安全に住み心地を良くする
お手伝いをする事業。

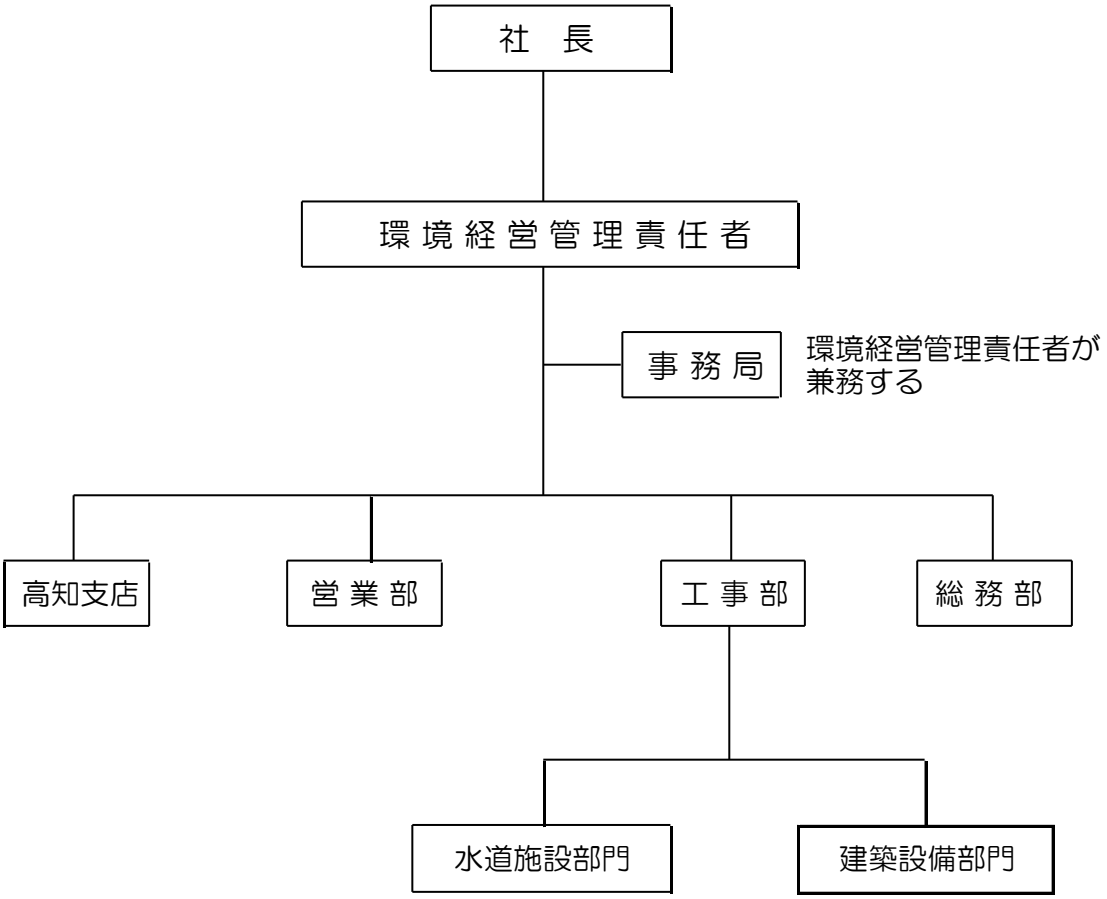
許認可関係

国土交通大臣許可（一般-22）第１１８６９号
管工事業、水道施設工事業、電気工事業、土木工事業
機械器具設置工事業、消防施設工事業、さく井工事業

5. 事業の規模

規　模	単　位	2020年	2021年	2022年
売　上	百万	439.13	314.93	630.00
人　員	人	21	21	19
床面積（事務所）	㎡	175.07	175.07	175.07
床面積（高知支店）	㎡	45.92	45.92	45.92
延べ床面積（倉庫）	㎡	237.5	237.5	237.5

６．組織体制



■　環境安全パトロールを毎月1回 定期的に実施する

≪企業理念≫

中筋建工株式会社は、環境保全活動が最重要課題であることを認識し、各自が率先して環境に配慮した行動に努め、企業活動を通じて継続的に微力ながらも地域の環境保全に貢献します。

≪環境経営方針≫

中筋建工株式会社の事業活動から排出されるCO2等により地球温暖化の原因の一部として環境に悪影響をもたらせていました。今後は、事業活動に属する全ての従業員が環境保全活動を積極的に行って、環境負荷を継続的に低減していきます。 以下に具体的な活動を示します。

1. 中筋建工株式会社の事業活動である給排水･空調設備の施工を通じて環境ﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑを構築し、環境保全活動の実施･運用を行い、継続的改善により、環境汚染予防に積極的に取り組んでいきます。
2. 関連する環境法規等を遵守します。
3. 事業活動における電力･燃料･廃棄物･水･化学物質の消費削減に積極的且つ、継続的に取組みます。
4. ﾘｻｲｸﾙ率及びグリーン購入の向上を図るとともに、地域社会における環境保全活動に参加します。
5. 中筋建工株式会社の事業活動である給排水･空調設備の施工を通じて社会貢献に取組みます。
6. この環境方針を全社員及び協力業者にも周知して、理解出来るよう環境教育を実施し、環境保全活動の意識向上を図ります。
7. 環境目標に関しては、定期的な見直しを行い、ﾁｪｯｸに努めます。

2009 年 11月　1日 制定
2011 年 10月 25日 改訂

中筋建工株式会社
代表取締役 中筋章聡

8. 環境目標・環境経営実績値

2021年度実績比に対する中期3ケ年プログラムである。
以下は、2022年4月～2023年3月迄の1年間の経営実績を以下に示す。

【 本 社 】

項 目	管 理 名	単 位	2021年実 績	2022年4月～2023年3月			2023年計 画	2024年計 画
					2022年度実績	計画値に対しての増減率		
① 電気	総使用量	KWh	18,070.0	計	17,889.3	98.9%	17,710.4	17,531.5
				実	17,701.0			
	CO_2換算値	Kg-CO_2	9,035.0	計	8,944.7	98.9%	8,855.2	8,765.8
				実	8,850.5			
② ｶﾞｿﾘﾝ	総使用量	L	23,194.0	計	22,962.1	77.5%	22,732.4	22,502.8
				実	17,795.8			
	CO_2換算値	Kg-CO_2	53,810.1	計	53,272.0	77.5%	52,739.3	52,206.6
				実	41,286.3			
③ 軽油	総使用量	L	3,998.0	計	3,958.0	12.0%	3,918.4	3,878.9
				実	473.0			
	CO_2換算値	Kg-CO_2	10,314.6	計	10,211.5	12.0%	10,109.3	10,007.2
				実	1,220.3			
計	CO_2換算値	Kg-CO_2	73,159.7	計	72,428.1	70.9%	71,703.8	70,979.5
				実	51,357.1			
■売上原単位		Kg-CO_2／百万円	232.30	計	230.0	35.4%	227.7	225.4
				実	81.52			
④ 水使用量	総使用量	t	230.0	計	227.7	149.3%	225.4	223.1
				実	340.0			
■売上原単位		t／百万円	0.730	計	0.723	74.6%	0.715	0.708
				実	0.539			
⑤ 廃棄物排出量	総排出量	t	958.04	計	948.46	33.0%	939.0	929.5
				実	312.90			
■売上原単位		t／百万円	3.042	計	3.012	6.0%	2.981	2.951
				実	0.181			
⑥ｸﾞﾘｰﾝ購入品	総使用数	品	15	計	16	93.8%	14	15
				実	15			
⑦化学物質保管状況	管理回数	回	3	計	3	100.0%	3	3
				実	3			
⑧フロンガス回収件数	回収件数	件	4	計	5	100.0%	6	7
				実	5			

＊ 購入電力の排出係数 ： 0.500

【 高知支店 】

項 目	管 理 名	単 位	2021年 実 績	2022年4月～2023年3月			2023年 計 画	2024年 計 画
				2022年度実績		計画値に対しての増減率		
① 電気	総使用量	KWh	1,160.0	計	1,148.4	99.7%	1,136.9	1,125.4
				実	1,145.0			
	CO_2換算値	Kg-CO_2	580.0	計	574.2	99.7%	568.5	562.7
				実	572.5			
計	CO_2換算値	Kg-CO_2	580.0	計	574.2	99.7%	568.5	562.7
				実	572.5			
④ 水 使用量	総使用量	t	9.0	計	8.91	101.0%	8.82	8.73
				実	9.00			

＊　購入電力の排出係数　：　0.500

9. 環境経営計画及び具体的施策の実行

No	削減取組項目	具体的施策の実行
①	電　気	冷暖房温度管理（夏季：28℃、冬季：20℃）の徹底。 休み時間の消灯。衣類で温度調整。 業務効率を上げ、残業を減らす。
②	ガソリン	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止の徹底。不要物の積載中止。 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの励行。移動時の相乗りの実施。
③	軽　油	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止。不要物の積載禁止。 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの励行。移動時の相乗りの実施。
④	水	節水ｺﾏ採用。漏水箇所の有無のﾁｪｯｸ。 生活用水使用量減の意識向上。
⑤	紙	ﾐｽｺﾋﾟｰの枚数削減。裏面使用の徹底。
⑥	廃　棄　物	AS･Con撤去による影響による補修面削減の徹底。 不要材の分別の徹底。 発生廃棄物の細分化の推奨。 有価物・ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙのﾘｻｲｸﾙ率向上。
⑦	ｸﾞﾘｰﾝ購入	使用する物品エコマーク商品の購入の推奨。
⑧	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	地域環境保全ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への積極的な参加。
⑨	化学物質量	塩ﾋﾞ製接着材に含まれる化学物質量保管状況の把握。
⑩	フロンガス	ﾌﾛﾝｶﾞｽ回収件数の向上。

10. 環境経営取組結果と経営の評価及び今年度の取組内容

取組結果は、前項でレポート済であり、活動の評価を行う。

■ 1年間取組結果の考察

	まとめ及び個別取組評価
総　　評	CO_2排出量の削減は、目標値 72,428.1値に対し、実績 51,357.1 値になった。 この結果は、ガソリン・軽油の使用量、特に軽油の使用量が大幅に減った事が原因である。 電気使用量に関しては、昨年に事務所の照明器具をLED照明に取替えした為、どうかと思われたが、何とか目標値を達成するすることが出来た。 来年以降からの削減結果がより重要である。 軽油 ・ｶﾞｿﾘﾝの使用量に関しては、軽油の使用量が大幅に減ったので目標を達成したが、 これは請負の関係で変化するもので、削減が出来ている訳ではない。ただ結果が減っているので、今後は仕事量が増えた時も削減出来る様に、より一層努力が不可欠である。 水使用量の削減は、目標値227.7ｔ に対して、実績値 340.0ｔ になった。 前年度にあまり把握できていなかった現場での使用量が今年度は明確になった為である。 今後は、現場の使用量も含めて削減出来るように努力する。 産業廃棄物削減は、目標値 948.46ｔ 値に対し、実績値 112.87ｔ となった。 これは水道施設の受注減の為である。水道施設の受注が増えると軽油・ガソリン等も使用量が増えるので、今後は受注を増やしながら、廃棄物の排出だけを抑えるようにしなければならない。 今後も工事の量・種類・場所により変動が予想されるため、より一層気を配ると共に受注物件を増やす意識向上も同様に持ち合す必要が有る。 また引き続き協力業者への環境負荷低減の取組への協力も合せて御願いしていくようにする。 現時点で適用される法的要求事項は全て満足している。　よって訴訟等は、1件もありません。

No	項　目	良かった点 ・ 悪かった点	今年度の取組内容
①	電　気	事務所ｴｱｺﾝの設定温度は習慣化してきているが、まだまだ改善の余地が有り。 冬場の温度設定を今後考える。	引続き継続する
②	ガソリン	現場への相乗りは幾らか出来ているが、必要のない移動･無駄な運転を減らす意識向上が必要。	引続き継続する
③	軽　油	現場への距離・工期等により変動が激しい。今後も車･重機のアイドリングの禁止を従業員に徹底する。	引続き継続する
④	水	現場での使用量の把握が、当社のみで無い為、一概に全てが使用量かどうか不明だが、 順調と思われる。	引続き継続する
⑤	紙	両面印刷の徹底及び細分化しての排出が改善されてきている。	引続き継続する
⑥	廃 棄 物	一般廃棄物との分別、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙの引取等、定着化してきている。	引続き継続する
⑦	ｸﾞﾘｰﾝ購入	これからは、ｴｺ商品の購入をますます増やしていく。	引続き継続する
⑧	ボランティア	年間3回ｱﾄﾞﾌﾟﾄ活動+年間4回みちﾋﾟｶ清掃にも参加。	引続き継続する
⑨	化学物質量	年間3回のチェック回数を今後増やしていく。	引続き継続する
⑩	フロンガス	下請業者にも回収を徹底する。	引続き継続する

11．次年度の環境経営計画及び具体的施策

No	削減取組項目	具体的施策の実行
①	電　気	冷暖房温度管理（夏季：28℃、冬季：20℃）の徹底。 冷暖房使用時間の制限（ 8時30分～19時迄 ） 昼休み時間の消灯の徹底。衣類で温度調整。 業務効率を上げ、残業を減らす。
②	ガソリン	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止の徹底。不要物の積載中止。 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの励行。移動時の相乗りの実施。 近場の現場への自転車での移動の実施。
③	軽　油	ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞ禁止の徹底。不要物の積載禁止。 ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの励行。移動時の相乗りの実施。
④	水	節水ｺﾏ採用。漏水箇所の有無のﾁｪｯｸ。 生活用水使用量減の意識向上。現場での使用量の削減
⑤	紙	ﾐｽｺﾋﾟｰの枚数削減。裏面使用の徹底。
⑥	廃　棄　物	AS･Con撤去による影響による補修面削減の徹底。 不要材の分別の徹底。 発生廃棄物の細分化の推奨。 有価物・ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙのﾘｻｲｸﾙ率向上。
⑦	ｸﾞﾘｰﾝ購入	使用する物品エコマーク商品の購入の推奨。
⑧	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	地域環境保全ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動への積極的な参加。
⑨	化学物質量	チェック回数の増加に努める。
⑩	フロンガス	回収件数の向上に努める。下請業者にも徹底する。

12．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果･違反･訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は、以下の表の通りです。
管理責任者が中心となり過去1年間の順守評価を行い問題のないことを確認しました。
又、同様に監督官庁及び周辺住民からの指摘、苦情、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

No	法規制等の名称	該当する活動及び要求事項	管理責任者･順守評価
1	建築基準法	建築物の設計・施工	責任者にﾋｱﾘﾝｸﾞ
2	建設ﾘｻｲｸﾙ法	対象建設工事（4区分）の届出 再資源化等を実施･報告、記録	元請として施主に 処理内容を報告
3	廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、届出 産業廃棄物処理法の順守項目：処理委託･委託基準･保管基準･施設の技術上及び維持管理基準･ﾏﾆﾌｪｽﾄ制度等、収集運搬車に表示及び書面備え付け義務等	日常点検･管理票記載事項も問題なし。 車輌運転手、車輌表示確認も問題なし。
4	建設副産物適正処理推進要綱	再生資源利用計画書及び同実施書の作成、記録	元請として施主に 処理内容を報告
5	建設機械に関する技術指針	排気ｶﾞｽ対策型機械の使用義務	3次対策車使用
6	騒音規制法	対称の特定建設業の届出、 規制値の順守	低騒音型の機械の使用
7	振動規制法	対称の特定建設業の届出、 規制値の順守	低騒音型の機械の使用
8	消防法	ｶﾞｿﾘﾝ・軽油・灯油の指定数量保管の届出　基準	自主管理 Ok !!
9	労働安全衛生法	身近な労働安全衛生関連法 安全衛生推進者 ・技能講習終了：土止め支保工 地山掘削・足場の組立等などの各作業主任者 ・就業制限技能講習：玉掛、車輌系建設機械の運転 ｶﾞｽ溶接、 高所作業車運転等 ・就業制限特別教育：ｱｰｸ溶接業務、 １ｔ未満の玉掛 ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ運転 ・石綿予防規則	各作業において 有資格者を適正 配置している

No	法規制等の名称	該当する活動及び要求事項	管理責任者･順守評価
10	水 道 法	・給水装置主任技術者の選任 ・給水装置工事に関する技術上の管理 ・給水装置工事に従事する者の技術上の指導･監督	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
11	水道法施行令	・ 給水装置工事に係る工法・工期その他工事の条件に関する連絡調整 ・ 指定給水装置工事事業者は、2週間以内に水道事業者に給水装置工事主任技術者選任の届出	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
12	徳島市水道事業条例	・ 給水装置工事は、指定給水装置工事業者が施工する。 ・ 給水装置の新設、増設、変更または撤去をしようとする者は、手数料を添え、書面によりあらかじめ水道事業管理者に申込、その承認を受けなければならない。	給水装置主任技術者による事前確認 申請･届出共問題無し
13	徳島市水道事業 施行規程	・ 給水装置以外の管その他設備に直接連結されていない事 ・ 凍結、破損、浸食等を防止するための適切な処置	給水装置主任技術者による適正な施工確認
14	徳島市指定 給水装置工事事業者 施行規程	・ 水道法、水道法施行令、水道法施行規則、条例、徳島市水道事業条例施行規程、水道事業管理者の指示を遵守 ・ 設計審査を受ける時は、申請書に設計図を添えて水道事業管理者に申請する。	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
15	浄化槽法	・ 浄化槽設備士の適正配置。 ・ 保守点検、清掃及び自治体の環境ｾﾝﾀｰの１回／年検査を受ける義務の推奨	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
16	下水道法	・ 特定施設の設置者届出、沈砂地等設備の設置、規制値の順守 ・ 除外設備の設置、水質測定の義務（温度、BOD，ﾀﾞｲｵｷｼﾝ）	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
17	徳島市下水道条例	・ 公共下水道の使用を開始、休止、若しくは廃止し又は現に休止している使用を再開した時は遅滞なくその旨を市長に届出する。	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ

No	法規制等の名称	該当する活動及び要求事項	管理責任者･順守評価
18	徳島市下水道条例 施行規則	・ 工事一括して第三者に委託し、又は請負わさない。 ・ 自己名義を他の業者に貸与しない。 ・ 工事は、条例第4条に規定する排水設備等の計画の確認を受けた後に着手する。 ・ 工事は、責任技術者の技術上の管理下においてでなければ設計及び施工しない事。 ・ 排水設備等を設置しなければならない者が条例及び規則の定めるところにより工事に関してすべき義務及び諸手続きについては、原則指定工事店が代行する事。	適正な人員配置 及び届出確認 問題ﾅｼ
19	厚生労働省関係 浄化槽法施行規則	・ 浄化槽の設置、保守点検・清掃及び製造についての規制	適正な人員配置及び 届出確認 問題ﾅｼ
20	徳島県 生活環境保全条例	・ 空き缶、ﾀﾊﾞｺ、ｶﾞﾑのﾎﾟｲ捨て散乱の防止を図り、ごみｾﾞﾛの社会を目指す。 ・ ごみ投棄の禁止、ごみの散乱の防止	問題無し
21	家電及び自動車 ﾘｻｲｸﾙ法	・ 自動車、ﾌﾟﾗｽﾞﾏ、液晶TV、衣類乾燥機含む廃棄時の法に基づく適正な引き渡し義務	問題無し
22	ｸﾞﾘｰﾝ購入法	・ 環境の負荷の少ない商品等の調達	問題無し
23	PRTR法	・ 第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出	該当無し
24	ﾌﾛﾝ排出抑制法	・ 冷媒用ﾌﾛﾝの回収･破壊の措置 ・ 機器の点検 （3ｶ月に1回以上の簡易点検）	問題無し

代表者による全体の評価と見直し

　かねてより社員教育の一環として無駄を無くす・減らす再生利用の活用を実践してきましたが、ｴｺｱｸｼｮﾝ21を社員一丸となって取組みを開始したことにより環境方針・自社の環境活動への取組の姿勢が以前によりも増して向上したと思われます。

　各社員は、排出量の低減、資源の少量活用、分別収集の徹底、ﾘｻｲｸﾙの向上、車輌の乗り合わせ、機械の効率性及びｺﾞﾐの分別の保管場所の確保に取組みました。

　本年度の環境活動への取組みの評価は、『軽油』の総使用量とCO_2換算値共に目標値を達成出来ました。同時に原単位でも達成しました。これは直営工事から下請業者への発注に重機手配や運搬工事を含んで発注した事も大きく関係しています。前年度より現場事務所を必要とする物件が多かった為、現場の電気使用量が増加しましたが、総使用量としては使用計画を下げる事が出来ました。

　『建築副産物』のうち Asｶﾞﾗ排出量とConｶﾞﾗ排出量は、計画目標値を達成しました。 ﾘｻｲｸﾙ率が下がったのは、Asｶﾞﾗの排出量が少し減少した為です。
本年度の工事の特徴としては、大型物件のJV工事があり、原単位の減少に大きく貢献する事が出来ました。

　『電気』の使用量は、事務所用など必要な固定の使用分があるので使用量は中々下がりませんでしたが、2017年に空調機を取替、2020年度後半～2021年度初めに掛けて照明器具をLEDへ取替した事で、今年度も電気使用量の減少に大きく貢献しました。
今回の結果からは、現場事務所の電灯の使用方法や外出時のｴｱｺﾝの運転しっぱなし禁止と設定温度など細かい部分にまでの指示が効果を上げました。

　これからも、環境活動への協力の呼び掛けが益々重要になってくると思われます。社員だけでなく、協力会社にも周知徹底を図ってまいります。今後共、工事件数、受注金額の増減に係わらず、原単位での削減を工夫致します。掲げる目標項目の中には、工事内容や下請への発注方法によって大きく数値が増減ずる要素を含んだものもあります。その為、固定的な使用を少しでも減らしながら、全体として(下請負業者も含め)CO2 の削減に努めながら工事出来高を増加させたいと考えています。

　今年度は、環境方針、環境目標、環境活動計画は変更せず、改めて今ここから計画目標値の達成・維持が出来るように厳格に取組みを指導してまいります。
そして企業理念、環境経営方針に基づき地域社会の環境保全に努めてまいります。

令和５年８月28日
中筋建工株式会社
代表取締役　中筋 章聡